

教えて Doctor 21

花粉症治療薬の最新情報 舌下免疫療法



「毎年スギ花粉に悩まされるのではたまらない」という方に朗報です。

国内で初めて承認された、舌下に投与する減感作療法薬

スギ花粉症に対する舌下投与による減感作療法薬が、今秋発売されます。減感作療法とは、アレルギーの原因(アレルゲン)を徐々に与えて、それに対する抵抗力をつけることです。従来行われてきた減感作療法は、アレルゲンのエキスを皮下注射として行われた方法で、アナフィラキシーショックなどの全身の副作用と注射の痛みが問題で、頻回の通院が必要でした。今回舌下免疫療法は、口腔粘膜を利用したため、全身の副作用が少なくなつた安全性と自宅で施行されることの利便性の点で優れています。

アレルギー性鼻炎、結膜炎の自然改善

は、中高年を除くと少なく、薬物療法はあくまで対症療法でした。一方、アレルゲン免疫療法は症状の改善により、使用中の薬剤の量を減らすこと、効果持続により自然経過の改善が期待できることです。

適応

適応は、①スギ花粉のアレルゲン検査が明確に陽性なアレルギー性鼻炎患者。②薬物治療が無効な患者。③アレルギー症状の根治的治療、寛解を希望する患者などです。年齢は原則として12歳以上です。

不適応

不適応は、①全身的に重篤な疾患を有する患者(悪性腫瘍、重症心疾患など)。②β阻害剤を使用している患者。③重症喘息を合併している患者。④妊婦。⑤急性感染症に罹患している患者などです。

方法

方法は、舌下アレルゲンエキスを舌下に2分間保持し飲み込みます。花粉飛散時期3ヶ月以上前から始め、増量、維持量へと最低2年間毎日継続します。

効果

効果は、①アレルギー症状の改善と薬物の減量。②免疫療法終了後も効果が持続することの期待。③新規のアレルゲンに対する感作を予防する可能性。④喘息の発症抑制です。

3年間の舌下免疫療法では、終了後7年間症状軽減が継続し、4年間の舌下免疫療法では、終了後8年間の治療効果の継続が認められました。

副作用

舌下免疫療法法の副作用のほとんどは、口腔内の痒みや口唇の腫脹、咽頭刺激感

などの口腔内の局所反応です。全身性の副反応としては、消化器症状、蕁麻疹、喘息の発作などがみられます。アナフィラキシーショックは、皮下免疫療法は1,000〜4,000回の接種に1回程度に対し、舌下免疫療法は約1億回の投与に1回で、致死的なアナフィラキシー反応は報告がありません。

免疫療法は、薬物療法と違い即効性はなく、効果発現まで少なくとも数週間かかります。また長い間治療を行っても結果、効果がみられない患者もいます。舌下免疫療法は、皮下免疫療法に比し、致死的副作用が極めて少なく、医師の指導の下で自宅で投与が可能であることから、長期間の根本治療を受ける意思がある人にはその有効性が期待できます。さらにアレルギー性鼻炎に合併することが多いアレルギー性結膜炎にも有効であることが期待されます。それには、家庭内で副反応を生じうるための対処法を、習熟する必要があります。

舌下免疫療法は、根治的ではありませんが、時間と費用を要する治療であり、治療脱落者は医師側、患者側ともに大きな損出となります。

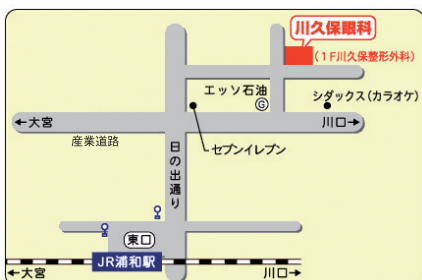


医学博士 川久保 洋 先生

1959年生まれ。川久保眼科院長
さいたま市立病院眼科医長
駿河台日大病院眼科外来医長を経て、
現在に至る。
駿河台日大病院眼科兼任講師
日本眼科学会専門医。

川久保眼科

眼科、日帰り白内障手術、オルソ・ケラトロジー(角膜矯正療法)、ボツリヌス毒素治療、コンタクトレンズの処方



- 診療時間 午前 9:00~12:00 午後 14:00~18:00
- 休診日 日曜祝日、土曜午後、および第1・2金曜日午後

川久保眼科

〒336-0936 さいたま市緑区太田窪3-8-3-2F
TEL: 048-885-5422 FAX: 048-885-5422 kawakuboeye.webmedipr.jp

※JR京浜東北線浦和駅東口よりバス10分。「太田窪」バス停徒歩2分。